

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	令和8年3月 日 (第1回目)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	唐津市 (41202)
地域名 (地域内農業集落名)	早田 (早田)

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	28.7 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	26.3 ha
② 田の面積	8.9 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	19.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.8 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	－ ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	－ ha
(備考)	

## (2) 地域農業の現状及び課題

<p>当地域は、5名の認定農業者がおり地域内の約30%の面積を耕作している。地域に補助事業を活用した集落協定等がないため、個人が各々の農地を維持し農地周辺の管理をしている。イノシシなどの有害鳥獣も多く、地域内に駆除員がいないため地区外の駆除員に頼っている現状である。</p> <p>【地域の基礎データ】          農業者:22人(認定農業者:6人、利用者:16人)          作物:飼料作物、イチゴ、みかん</p>
---

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>田については、規模拡大を目指す認定農業者が飼料作物等の生産のため、維持管理できない水田等を引き受けることができるか相談・調整に努める。畑については、水がない農地も多々存在するため、今後は農地の荒廃化を防ぐ方法を検討していく必要がある。</p> <p>鳥獣対策として地域外の有害鳥獣駆除員がはこ畷の設置をスムーズに行えるよう、出没情報を共有するなどの基盤を整えるところから始める。将来的には地区内で活動する駆除員の育成をしたい。</p>
--

## 2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
離農や規模縮小のタイミングで、現在の担い手への農地の集積・集約化を行い、並行して担い手の農作業に支障がない範囲で農地利用者による農地利用を進める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	48	%	将来の目標とする集積率
			48 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手となる農家を中心に集約化を進め、目標集積率の達成を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積・集団化の取組
将来的には、地域内にいる認定農業者の意向を確認しながら、集積・集約が可能か検討していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域内としての活用方針はない。まずは地域内で担い手を探し、困難な場合は個人の判断で農地中間管理機構を利用して広く利用者を探す。
(3)基盤整備事業への取組
過去に基盤整備を行っているため、現在のところ取り組む意向はない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
農地が荒廃すること避けるため、入作については積極的に対応したい。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域としての活用方針はなく、各個人の判断に委ねる。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				
①当地区には駆除員がおらず、他の地区の駆除員がはこ罟を設置しているため、地区で駆除員を育てる体制の構築や補助員の人数を確保など、できる範囲から検討していく。 ⑩地域計画及び目標地図の変更が必要となる場合は、適宜協議の場を設置することを基本とするが、住民負担の軽減を図るため、地域の会合等を活用して変更案の内容協議や意見の取りまとめを行うなど、簡易な方法による協議を行うことができるものとする。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	野田 正幸、バスター、藤原 隆一、山本 隆一	3.8 ha	0 ha	0 ha	水稲、野菜	0.2 ha	0 ha	1	
認農	野菜	0.1 ha	0 ha	0 ha	野菜	0.1 ha	0 ha	2	
認農	水稲、果樹	3.8 ha	0 ha	0 ha	果樹	3.4 ha	0 ha	3	
認農	飼料作物	3.4 ha	0 ha	0 ha	飼料作物	3.4 ha	0 ha	4	
認農	いちご	0.9 ha	0 ha	0 ha	いちご	1.3 ha	0 ha	5	
認農	たばこ	1.4 ha	0 ha	0 ha	たばこ	1.4 ha	0 ha	6	
認就	きゅうり、アスパラガス	0.5 ha	0 ha	0 ha	きゅうり、アスパラガス	0.4 ha	0 ha	7	
利用者		0.1 ha	0 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	8	
利用者	野田 正幸、バスター、藤原 隆一、山本 隆一	0.6 ha	0 ha	0 ha	野田 正幸、バスター、藤原 隆一、山本 隆一	1 ha	0 ha	9	
利用者	水稲	2.2 ha	0 ha	0 ha	水稲	1.3 ha	0 ha	10	
利用者	野菜	0.1 ha	0 ha	0 ha	野菜	0.1 ha	0 ha	11	
利用者	水稲、いちご	0 ha	0 ha	0 ha	水稲、いちご	1 ha	0 ha	12	
利用者	もち米	0.1 ha	0 ha	0 ha	もち米	0.1 ha	0 ha	13	
利用者		0 ha	0 ha	0 ha	水稲、野菜	3.5 ha	0 ha	14	
利用者		0 ha	0 ha	0 ha	水稲	0.5 ha	0 ha	15	
利用者		0.1 ha	0 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	16	
利用者	水稲	0.4 ha	0 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	17	
利用者	水稲	0.8 ha	0 ha	0 ha	水稲	0.8 ha	0 ha	18	
利用者		0.1 ha	0 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	19	
利用者		0.1 ha	0 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	20	
利用者	WCS用稲	0.2 ha	0 ha	0 ha	WCS用稲	0.2 ha	0 ha	21	
利用者		0.1 ha	0 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	22	
計	0経営体	18.8 ha	0 ha	0 ha		19.5 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。